

平素は本校教育活動の推進にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、冬休み後の学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。学校評価は児童・保護者・教職員が共通の意識をもち、連携しながら教育活動を進めるために、それぞれの立場でこれまでの取組について見つめ直す手段の一つであり、その結果から見えてくる課題について分析し、よりよい教育の在り方について考えていきたいと思っております。

なお、以下の考察では、A群とB群で「できている」、C群とD群で「できていない」と大きく2つに分けて分析しています。

本号では1月に行いました学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面には＜学習面＞、裏面には＜生活面＞を載せています。表のAは「よくできている」Bは「だいたいできている」Cは「あまりできていない」Dは「できていない」を示しています。

【後期 学習面】																		
	児 童		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
①	がくしゅうのめあてがたっせいで きている。	前期	52.5%	38.3%	8.0%	1.2%	我が子は、学校で学んだことを身 に付けている。	前期	51.1%	43.8%	4.4%	0.7%	確かな学力が身に付くように授業 を工夫して行っている。	前期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
		後期	49.7%	43.0%	5.7%	1.6%		後期	50.8%	42.8%	6.4%	0.0%		後期	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%
②	せんせいやともだちのはなしをよ くきいて、かんがえている。	前期	57.5%	35.4%	6.2%	0.9%	我が子は、人の話をしっかりと聞 いて考えることができている。	前期	36.8%	47.1%	15.4%	0.7%	友だちや先生の話をしっかり聞いて 考える習慣をつけるように取り組 んでいる。	前期	47.6%	47.6%	4.8%	0.0%
		後期	57.6%	34.2%	7.0%	1.3%		後期	43.2%	45.1%	11.0%	0.8%		後期	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%
③	じゅぎょうちゅうすすんでじぶんの かんがえをひょうげんしている。	前期	40.7%	39.8%	15.9%	3.5%	我が子は、進んで自分の考えを 話すことができている。	前期	37.5%	46.3%	15.1%	1.1%	授業中、子ども達が進んで自分の考 えを伝えるような授業づくりを心掛 けている。	前期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
		後期	37.7%	41.5%	17.1%	3.8%		後期	37.9%	45.5%	15.9%	0.8%		後期	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%
④	よんだり、かいたり、けいさんし たりするちからがみにについている。	前期	57.5%	33.0%	8.0%	1.5%	我が子は、基礎的な学力(読む・書 く・計算する)が身に付いている。	前期	53.3%	39.3%	6.3%	1.1%	基礎的な学力(読む・書く・計算す る)が身に付くように取り組んでい る。	前期	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%
		後期	55.7%	34.5%	7.9%	1.9%		後期	52.7%	38.6%	8.0%	0.8%		後期	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%
⑤	いえでじぶんからしゅくだいやがく しゅうをしている。	前期	52.8%	32.2%	12.1%	2.9%	我が子は、自分から家庭学習に 取り組むことができている。	前期	36.8%	39.3%	21.7%	2.2%	家庭学習の習慣が定着するよう な働きかけを行っている。	前期	23.8%	57.1%	19.0%	0.0%
		後期	55.4%	30.4%	11.4%	2.8%		後期	36.4%	40.5%	20.1%	3.0%		後期	31.6%	57.9%	10.5%	0.0%
⑥	すすんでどくしょをしている。	前期	49.9%	26.8%	16.8%	6.5%	我が家では、本に親しむことがで きる環境を整えている。	前期	49.6%	30.1%	16.9%	3.3%	読書の習慣が定着するような働 きかけを行っている。	前期	23.8%	61.9%	14.3%	0.0%
		後期	48.7%	26.6%	16.1%	8.5%		後期	44.7%	33.0%	20.1%	2.3%		後期	52.6%	31.6%	15.8%	0.0%
⑦	すすんでうんどうをしている。	前期	62.2%	24.5%	10.0%	3.2%	我が子は、進んで運動に取り組 んでいる。	前期	49.3%	30.9%	17.6%	2.2%	進んで運動できるように工夫した り、声をかけたりしている。	前期	23.8%	42.9%	33.3%	0.0%
		後期	59.2%	27.8%	7.6%	5.4%		後期	45.5%	31.8%	20.8%	1.9%		後期	36.8%	47.4%	15.8%	0.0%

【①がくしゅうのめあてがたっせいでできている。】の項目より

①の項目については、学習面の項目で最も高く、児童の92.7%が「できている」と回答しています。本項目は、毎年比較的高く、今回、僅かに向上も見られました。ただし、A・C群が減少してB群が増えたことから、勉強が少し難しくなってきたと感じる児童や、この1年間を通して力をつけてきた児童等、いろいろいるようです。コロナ及び、インフルエンザ等で、遅刻や欠席(自宅待機)も多く、担任もなかなか全員をフォローすることが大変だったようです。来年度、日々の授業改善はもちろんのこと、例えば、放課後に個別指導をするなど、一人一人の学習をより支援できるような学校体制も考えていくことが課題だと考えます。

【②せんせいやともだちのはなしをよくきいて、かんがえている。】の項目より

②の項目については、児童の「できている」が91.8%で、保護者は88.3%でした。特に、保護者の「できている」が、前期と比べて4.4%向上しました。ご家庭で、お子さまとしっかりコミュニケーションを取っていただいているおかげです。ただ、道具が進化し、世の中が便利になると、自分が思ったようにできることが増え、想像力・思考力を使わなくてもよい場面が増えるかもしれません。だからこそ、伝わりやすいご家庭だけではなく、学校のような「小さな社会」でいろいろな人と時には楽しく、時には思うようにいかないことも経験し、自分とは違う相手のことを知り、相手のことを考えることも大切であると考えます。

【⑥すすんでどくしょをしている。】の項目より

⑥の項目については、児童の「できている」が75.3%と、前期から引き続き学習面では一番低い値でした。読書は、老若男女問わず、知識を増やしたり、想像力や思考力を付けたりして人生を豊かにするツールとして、身近なものです。しかし、現在身近にあるメディア機器は、興味があるものに最短でたどり着き、誘導するため、新しい出会いが減る傾向があります。毎月行っている「よもよタイム」や、読書週間に行った教職員の「おすすめの本紹介」では、目を輝かせて聞く子どもたちの姿が印象的でした。出会いさえすれば、本が好きになるのではないかと思います。もし機会がありましたら、たまには本屋や図書館にぶらっと行ってみてはいかがでしょうか。コロナが落ち着けば、学校でも図書館の制限をなくして、より身近にしていきたいと考えています。

【後期 生活面】

	児 童		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
①	じぶんからすすんであいさつをしている。	前期	58.7%	35.7%	5.0%	0.6%	我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。	前期	54.4%	40.4%	5.1%	0.0%	自分から進んで気持ちのよい挨拶ができるように働きかけている。	前期	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
		後期	52.2%	42.1%	4.7%	0.9%		後期	55.7%	39.0%	4.9%	0.4%		後期	78.9%	15.8%	5.3%	0.0%
②	いえやがっこうのルールをまもっている。	前期	47.2%	46.6%	5.3%	0.9%	我が家では、家や学校のルールを守るように働きかけている。	前期	54.0%	41.5%	4.4%	0.0%	家や学校のルールを守る意識を高めるように取り組んでいる。	前期	47.6%	47.6%	4.8%	0.0%
		後期	48.7%	46.2%	5.1%	0.0%		後期	54.9%	41.7%	3.4%	0.0%		後期	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%
③	そうじやかたづけをきちんとしている。	前期	52.2%	37.8%	8.3%	1.8%	我が家では、掃除や身の回りのかたづけを自分でするようにしている。	前期	16.5%	58.5%	22.4%	2.6%	自分から進んで掃除や身の回りのかたづけをするように働きかけ、自らも実践している。	前期	66.7%	23.8%	9.5%	0.0%
		後期	43.7%	44.0%	10.4%	1.9%		後期	20.1%	61.7%	17.4%	0.8%		後期	52.6%	42.1%	5.3%	0.0%
④	こまったことは、せんせいやかぞくにそうだんしている。	前期	44.8%	36.3%	15.0%	3.8%	我が家では、子どもの話をしっかり聴くようにしている。	前期	41.2%	53.3%	5.5%	0.0%	子ども達に向き合い、しっかりと話を聴くようにしている。	前期	52.4%	47.6%	0.0%	0.0%
		後期	42.4%	34.5%	17.4%	5.7%		後期	41.7%	53.8%	4.5%	0.0%		後期	73.7%	26.3%	0.0%	0.0%
⑤	だれにたいしてもいねいなことばではなしている。	前期	30.4%	50.7%	15.0%	3.8%	我が家では、丁寧な言葉づかいで話すように心掛けている。	前期	30.5%	53.3%	15.8%	0.4%	誰に対しても丁寧な言葉遣いで話すよう指導するとともに、自らも実践している。	前期	57.1%	38.1%	4.8%	0.0%
		後期	20.9%	54.1%	21.5%	3.5%		後期	28.4%	53.8%	16.7%	1.1%		後期	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%
⑥	にがてなことにもじぶんからとりくんでいる。	前期	42.5%	40.1%	14.5%	2.9%	我が家では、苦手なことにも努力する姿勢を大切にしている。	前期	36.8%	51.5%	10.3%	1.5%	子ども達が、苦手なことにも前向きに取り組めるような手立てを、常に意識して実践している。	前期	33.3%	61.9%	4.8%	0.0%
		後期	41.5%	37.0%	16.8%	4.7%		後期	38.3%	52.3%	9.5%	0.0%		後期	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%
⑦	じぶんにはがんばっていることがある。	前期	74.9%	20.1%	4.7%	0.3%	我が家では、子どものよさを認め、伝えるようにしている。	前期	68.4%	26.5%	5.1%	0.0%	子どものよさを認め、積極的に伝えるようにしている。	前期	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
		後期	72.8%	22.2%	3.8%	1.3%		後期	64.4%	33.7%	1.9%	0.0%		後期	84.2%	15.8%	0.0%	0.0%
													「学校いじめの防止等基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている。	前期	52.4%	47.6%	0.0%	0.0%
														後期	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%

【①じぶんからすすんであいさつをしている。】については、児童・保護者・教職員ともに、9割以上が「できている」と回答しています。確かに、すれ違う時に「おはようございます」と挨拶する子、職員室に「失礼します。〇年〇組の□□です。」と言ってから入る子等、礼儀正しい子は多いです。一方で、決まった場面ではしっかり伝えられても、日常のちょっとした場面では一言が出てこないことも意外と見かけます。何か取ってあげた時に受け取ってすぐに去ってしまう、人に頼む時に無言でやってもらうのを待つ等、もう少し相手意識があればという場面があります。家でも一言を大切にしていただいでいるとは思いますが、単語あるいは、何も言わなくても伝わることもあるかもしれません。だからこそ、学校という場でも、「お願いします」「ありがとう」「ごめん」等、相手意識をもった一言を大切にしていきたいと考えます。ご家庭でも、お話しいただけたらと思います。

【⑤だれにたいしてもいねいなことばではなしている。】では、児童の「できている」という回答が、約6%低下していました。学級でお互い慣れてきたと考えることもできますが、保護者の自由記述でも、「学校から荒っぽい言葉を覚えてきたので残念」だとか意見をいただきました。確かに、30人いたら30通りの話し方があり、他者と話せば話すほど、良くも悪くも刺激や影響を受けると思います。さらに、身近になったメディアからの影響もあります。そもそも、大人でさえ、人によって感覚が異なり、普通だと思って伝えたことが、他者からはそう受け取ってもらえないこともあります。だから仕方ないという話ではなく、そういう社会の中で、何をどのように感じ、成長していくのが大切だと考えます。今まで使っていない言葉を覚えてくると驚かれると思いますが、学校もご家庭もそこが成長のチャンスと捉え、ただ真似をするのではなく、声をかけたり一緒に考えたりして、コミュニケーション力を上げていきたいと思います。

保護者の皆様からいただいたご意見についても教職員で共通理解を図るとともに、3月2日の「学校運営協議会理事会」でも話題にさせていただきます。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。子ども達の成長のために、学校と保護者が連携してより良い取組を進められますよう、今後もよろしくお願い申し上げます。

○今回のアンケートでは、保護者の皆さんに 14 の項目について振り返って書いていただきました。ご記入ありがとうございました。一部になりますが、紹介させていただきます。（文章を整えるために省略したり、表現を変えたりして記載しています。）

- ・挨拶は学校でも、大切にしてほしい。挨拶をするよう声かけはしているが、恥ずかしさからか声が小さくなっている所がある。
 - ・学校で友人と一緒に学べる事を楽しみに登校している。引っ込み思案の子ですが、社会性を育てているようで、感謝している。
 - ・学校での周りのお友達と一緒に学ぶ環境が、積極的に勉強などに取り組めることへつながっていると思う。コロナ禍の学級閉鎖や授業内容の変更等は子どももつまらなさそうだった。
 - ・友達と遊んだり運動をしたりする機会が少なくなっている。
 - ・読書が好きで、身体を動かす機会が少ないように感じるため、意識して一緒に楽しく運動できる機会を設けたいと思った。
 - ・家庭や習い事（スポーツ）の様子を見る限り、萎縮することもなく、のびのびと過ごせているように思う。
 - ・とにかく体を動かす機会をと子どもと相談して部活に入ったが、途中から周りが上手いので気分が乗らず嫌がった。辞めるのは簡単だが、そこをどう話し合ってすり合わせていくかを親子で学べた。
 - ・学習の遅れが気になる。自宅で復習するよう促していますがなかなか習慣にならない。学習の遅れを取り戻すのが難しい。
 - ・自分の気持ちを言葉にするのが少し苦手だが、決めつけず、お互いもっと話せたらいいと思う。
 - ・人の話の一部をきいて理解した気になっているところが散見されるので、人の話は最後まで聞きなさいと伝える機会が増えている。
 - ・良い生活習慣が出来ていない。家庭での学習もなかなか出来ていない。家庭での悪い生活習慣が全ての事柄で尾を引いている。
 - ・特にコロナ禍後、あまり図書館に連れて行ってやれていない。
 - ・高学年になり、意識的に行動できるようになりつつあるなど感じている。基礎学力が確立する大切な時期でもあるので、励ましつつ、遊びに勉強に、また趣味なども楽しんで欲しいと思う。
- ・先生、友達に恵まれてとても良い環境で過ごせている。子の自由や自主性を大切にしながら一人一人に目や声を掛けて指導して頂けとても有り難い。安心して学び過ごせる環境に感謝して、これからも充実した学校生活を過ごしてほしい。
 - ・学校ではやっている(らしい)が、もう少し、学校で感じる緊張感と家での甘えやわがままの間があってもいいような気がする。
 - ・努力の姿勢が見えるが上手く気持ちが乗らない事もあるため、頑張ろうとした事を褒めるよう心がけている。
 - ・親がいない時は自分でできているので、いる時もできるようにしたい。
 - ・親の声かけと反して、本人の都合で今はやりたくないなどの気持ちや自己主張が強く出るようになってきた。進んで取り組める声かけがいつも効果的に響くとは限らないので難しいところ。
 - ・家庭でも自主的に学習に取り組めるよう、工夫したり働きかけたりしているが、なかなか目標通りにはいかない。平日はもちろん、週末こそもう少し意欲を持って欲しいと思う。学びは良い刺激があるようだ。
 - ・親として、時間や気持ちの余裕が無い時も、子どもの様子をよく見て必要性を感じたら、優先して対応していきたいと思った。
 - ・あまり自分から進んで何かをすることがないので、出来るように声かけ出来たらと思う。
 - ・好きなことを伸ばす方がいいと思うので、苦手なことはそこまで頑張る必要はないと思っている。
 - ・身支度など、つい親が先回りしてフォローしすぎてしまうことが多いので、心と時間に少しゆとりを持って、できるだけ本人がやれるように見守っていききたい。そろそろ身の回りのことを自分でやるようにしていきたい。
 - ・言われないと動かないということを直していけるように声かけをしていきたい。